

空の移動革命官民協議会発表資料

日本工営
次世代エアモビリティチーム

2022年3月

会社概要(2021年6月末時点)

- 会社名 日本工営株式会社
- 設立 1946年6月7日
- 資本金 7,480百万円
- 従業員数 5,936名 [グループ連結] 2,537名 [単体]
- 子会社数 84社
- 事業内容 コンサルティング事業(国内、海外)、都市空間事業、エネルギー事業
- 経営理念 誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。

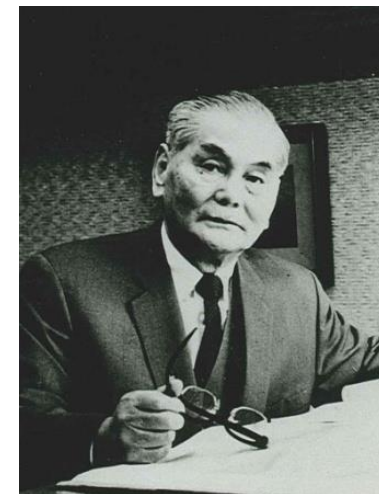
■創業者 久保田 豊 (1890~1986)

戦前は朝鮮半島で当時最大級の電源開発(水豊ダム/700MW)に従事。

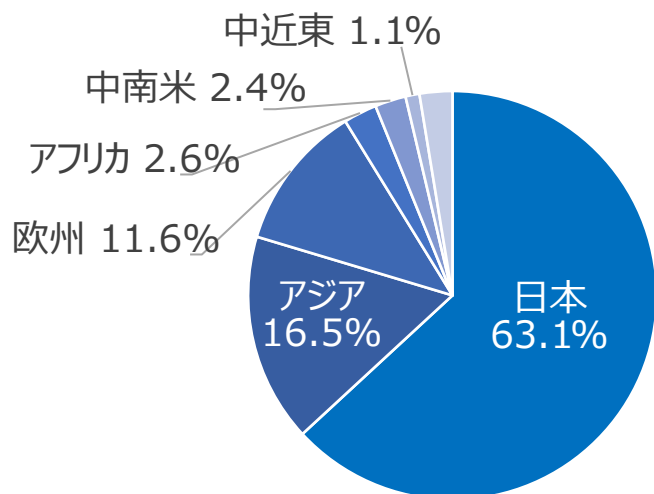
戦後、日本の復興および海外の戦時被災国復興を目指して56歳で会社を設立。

海外技術協力の父と呼ばれ、1985年には、勲一等旭日大綬章。

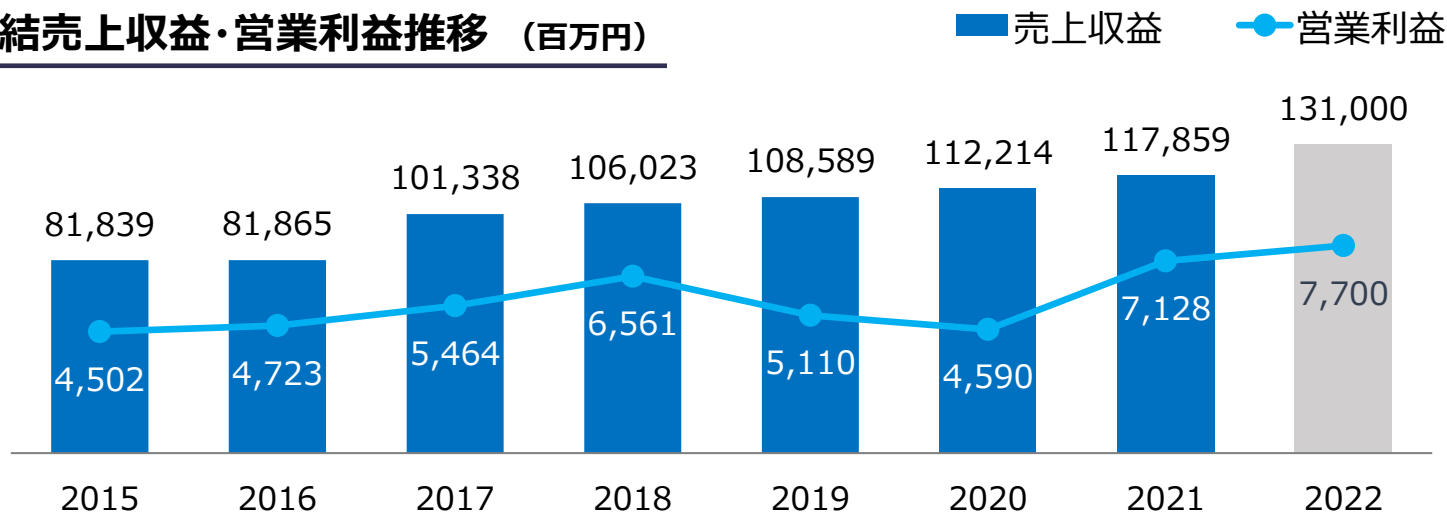
90歳まで、世界各地のプロジェクトを指揮し、開発途上国の発展に貢献。



地域別売上高

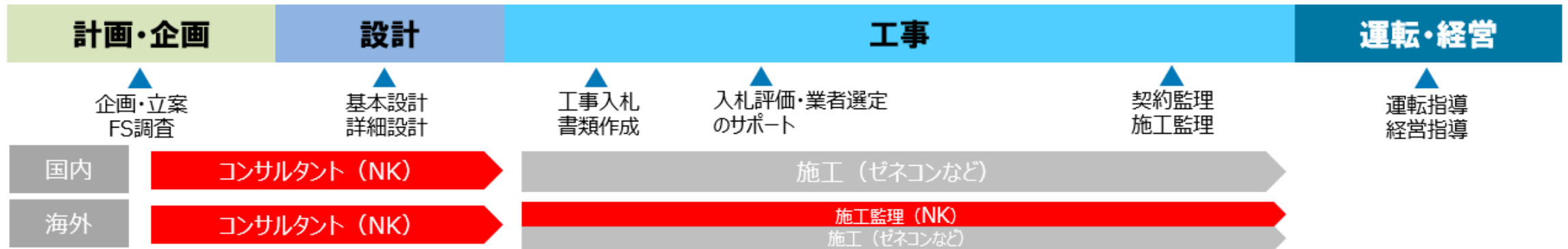


連結売上収益・営業利益推移 (百万円)



※2020年6月期までは日本基準、2021年6月期からIFRS基準で記載しています。

業務範囲と事業領域



コンサルティング事業



土木などの専門技術を有し、国、地方自治体、海外政府機関、民間企業などに対し、社会インフラの整備・維持、安全対策などの計画立案や設計などのコンサルタント事業を行っています。複雑化する社会課題に対し、建設コンサルタントはこれまで以上に高い専門性と技術力、総合力を発揮することが求められています。当社は、事業者の総合的なパートナーとして多くの役割を担いながら、社会基盤を支えています。

都市空間事業



世界の建設設計会社の売上のうち、多くの割合を占め、成長している分野の一つが建築です。当社は、世界各地の膨大な都市開発需要に対し建築と土木を融合した事業展開を目指し、2016年3月に英国の建築設計会社BDP社を、2019年2月にカナダのQuadrangle社をグループ化しました。両社の持つ建築ノウハウを取り込み、新たな時代のニーズを捉えた都市空間づくりに取り組んでいます。

エネルギー事業



国内外の電力・電気設備において、計画・調査から、設計、工事、機器製造、維持管理に至るまでのあらゆる段階のサービスを提供しています。また、世界で脱炭素化が進展し、再生可能エネルギー関連ビジネスが大きく変化する中、多様な電源から提供されるエネルギーを、蓄電池を通じて安定的に管理・制御する電力流通網向けサービスや、仮想発電所（VPP）関連ビジネスなどに注力しています。

空飛ぶクルマ分野における取組方針

空飛ぶクルマを支えるインフラ整備への参画

日本工営が実施してきた国内および海外の新空港・既存空港における調査から施工までの経験を活かし、空飛ぶクルマの社会実装に不可欠な離着陸場の整備に貢献いたします。

調査・計画

- 都市計画・交通計画策定
- 離着陸場適地選定
- 離着陸場施設要件検討
(土木・建築・電力・通信)
- 空域設計
- 管制システム検討
- 環境アセス・住民説明会

設計・施工

- 離着陸場基本設計
- 離着陸場詳細設計
- 施工監理

運営

- 離着陸場運営、
維持管理

3Dマップを利用した空域設計イメージ



課題認識と官民協議会にて貢献可能な領域

- 空飛ぶクルマのインフラ整備に関する制度や施設の設計仕様等は未整備の状況と認識
- 日本工営のヘリポート・空港エンジニアリング、電力エンジニアリング、環境アセス等に係る技術的知見を基に各種検討等で貢献させて頂きたい

項目	検討内容
離着陸場整備に係る各種検討	<ul style="list-style-type: none">離着陸場適地選定のフロー、評価基準検討・ご提案離着陸場の構成施設検討・ご提案各施設の仕様検討・ご提案
空域設計・管制システム検討	<ul style="list-style-type: none">ユースケースに応じた最適な飛行経路（離着陸場配置）のご提案地形・建造物、周辺空域、航路等を考慮した最適な専用コリドーのご提案運航率を向上させ安全で効率的な飛行方式の提案、空飛ぶクルマに適した進入・出発方式のご提案
給電設備検討	<ul style="list-style-type: none">空飛ぶクルマに適した高頻度、高出力充電施設の検討・ご提案給電施設整備に係る制度改善等に係る検討・ご提案
環境アセスに係る検討	<ul style="list-style-type: none">空飛ぶクルマ事業に適した環境アセス制度の検討・ご提案必要な評価項目の検討・ご提案
保安規定に係る検討	<ul style="list-style-type: none">離着陸場保安規定策定等に関する検討・ご提案

次世代エアモビリティチームのご紹介

次世代エアモビリティチーム



吉田 武弘
(空港計画・土木)



須貝 英基
(航空管制、域設計)



石川 正樹
(交通・都市計画)



田中 真治
(環境影響評価)



臼井 達朗
(エネルギー)



小池 太郎
(事業開発、営業)



井上 靖志
(航空管制システム)



山極 政行
(空港土木)



宮崎 慎也
(交通・都市計画)



田中 寿枝
(環境影響評価)



ガルブレス ジョセフ
(空港土木)



李 娜
(事業開発、営業)

今後の取組方針

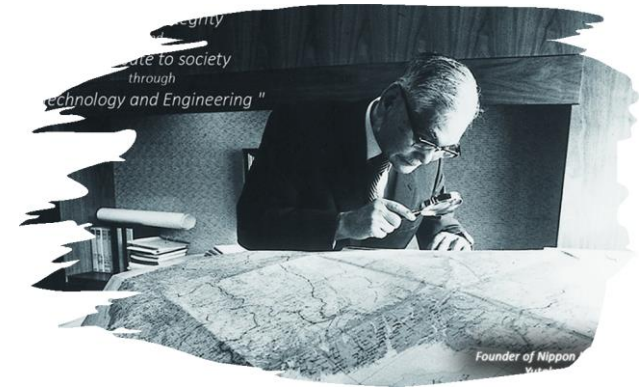
- 大阪ラウンドテーブル参画
- 自治体・研究機関等の各種調査・実証事業参画
- 各種協議会等への参画
- 海外市場への展開

中期:北米・欧州、 長期:アジア・新興国



ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ先：次世代エアモビリティチーム (ml-UAM@bx.n-koei.co.jp)



誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。



Future Unlimited

75th ANNIVERSARY

NIPPON KOEI